



好学愛知 自律敬愛 質実剛健

鶴丸イ言

鹿児島県立鶴丸高等学校

〒890-8502 鹿児島市薬師二丁目1番1号

TEL 099-251-7387 FAX 099-255-3433

http://www.edupref.kagoshima.jp/sh/Tsurumaru/top.html

便利であることは 幸福であるための「1」条件

数学科 濱川 祐幸

「ポツンと一軒家」。今私の一番お気に入り入りのテレビ番組だ。タイトル通り人里離れた一軒家を目指すが一軒家を見つけて「はい終わり」ではなく、人、暮らし、歴史そしてなぜそこに居続けるのかを紹介してくれる。例えば、自ら家を作り理想を追い求める人、先祖代々の家を守る人、就職で実家を離れたがまた実家に帰り家業を継ぐ人など様々な人が登場するが、そのほとんどが、電気や水が通じておらず、町から家までの道が狭く危険だったり、買い物が大変だったり多くの不便を抱えて暮らしている。しかし、視聴者の思いとは裏腹に、テレビの中の人々は生き生きとその暮らしを楽しみ、現実と向き合い力強く生きていく。そういえば、私が生まれた昭和40年の種子島の家には（ポツンとではなかったが）今家にある多くのものがなかった。テレビ、電話、大型冷蔵庫、全自動洗濯機。風呂はあったが家の外の離れにあった五衛門風呂。蛇口を捻ればお湯が出る風呂ではない。薪に火をつけることから始まる。しかし、こんな暮らしが当たり前だったからか、不自由さを感じることとはなかった。逆に火をつけたら、洗濯板を使ったり、自然相手に遊ぶ時間がいっぱいあり、貴重な経験を得た。また高校時代は学校にエアコンはなく、夏の補習は桜島の灰が入ってこないように教室の窓を閉め切った。自然と流れる汗がノートに落ちた。仕方ないと諦めることかえって忍耐力がついた。もちろんパソコンもなかった。当時の先生たちはテキストや文書作成、試験集計などを手作業でしていたことを思うと、その苦労はいかばかりか。そして、今では当たり前の携帯電話、スマホもない。必要な連絡には固定電話を使う。覚えていた番号はいろいろ忘れた番号はメモ帳、電話帳で調べた。でもけっこう覚えていた。記憶力はそれなりにあったし、調べることを面倒とは思わなかった。加えて今ではどこにでもあるコンビニもなかった。周りの商店は夕方6時には閉まるので、時間を気にしながら買い物をした。買った忘れたら潔く諦めていた。

ここでみんなに前に述べた暮らしをイメージして欲しい。便利と不便、自由と不自由について改めて考えて欲しい。私はこの「便利」にはメリット以上にデメリットも多しと感じる。不便を便利にするために多くのものが自動化されたことで、人は目的を達成するために努力、工夫、苦勞することが少なくなったと思う。また、与えられた便利な選択肢に疑問を持たず行動する人間が増え、人間自体が愚鈍になっていくのではないかと。少々の不便さや不自由さに感情的になり、すべ、諦めたり、新しい「便利」に刹那的・短絡的に飛びついたりしてないか。これらは人としての能力を低下、退化させているものと感じるがどうだろうか。

最後に人間にとって、豊かな人生、豊かな生活とはどんなものなのか考えてみたい。みんなは「ホセムヒカ」を知っているだろうか。ウルグアイの元大統領で、「世界一貧しい大統領」と呼ばれた。彼の言葉の中に次のようなものがある。「私は必要なものだけで生きています。物質的なものに束縛されていません。なぜかといえば束縛がない分自由な時間を持つからです。そこで何をするか？好きな事をするのですよ。」「貧しい人々というのは、贅沢なライフスタイルを維持するためにだけに働き、常に多くのものを欲しがる人々です。確かに人生で大事なものには幸福であることで、裕福になっても幸福でない人が多いし、貧しくても幸福な人もいます。生きることに謙虚で、取るに足ることを知ることが大事だと思う。だから、我々は今一番大事なことは何かを冷静に考え、真の幸福を追求するために学ばなければならない。こう考えると、時にはスマホ

やパソコンのない日があってもいいじゃないか。その代わり、その時間を家族や友人と将来について語り合ったり、読書したり、散歩したり。もしかしたら、不自由と思われれる状態が実は幸福で楽しみいっしょの世界であることを意識できるかもしれない。

「ポツンと……」を今週も見たが、やはりポツンとする。そして生きることや幸福について考えさせられる。この時間は数学を解くときと同じくらい楽しい。この何でもない「楽しい」が「私にとっての幸福」なのかもしれない。さて、みんなが求める幸福とはどんなものなのだろうか？

創立125周年記念 第71回文化祭開催

10月5日(土)、創立125周年記念第71回文化祭が開催された。今年のテーマは、「Unlimited」125の時を越えて。各クラスが思考を凝らした展示やステージ発表を行い、また文化系部活動も各部活動の良さをいかしたステージ発表、展示発表を行い、バラエティーに富んだものとなった。ステージ発表では発表者はもちろん、観覧している生徒も一体となった発表となった。展示発表は、実際に参加することができるものが多く、来場した方々も十分楽しむことができたのではないだろうか？



幕間の放送部のMC



文化祭当日の正門の様子

「ノートルダム物語」を演じて下さった劇団ショーマンシップの皆さんと演劇部の生徒！



二年生を激励する会 受験に向けてギヤチェンジ

10月21日(月)、宝山ホールで「三年生を激励する会」、通称「三激会」が開催された。今年度の芸術鑑賞の部は、劇団ショーマンシップの皆さんによる「ノートルダム物語」。劇中では、本校の演劇部の生徒も登場し、特にジブシーが大道芸を見せる場面は会場を沸かせた。劇が終了した後、1・2年生から3年生へ三激カードが贈呈され、三激委員を代表し、36Rの中西海翔君が「今まで支えてくれた人への感謝を忘れず頑張りたすべし」と今後の抱負を述べた。3年生は愛唱歌『かぜになれ』を全校生徒で合唱し、受験に向けて決意を新たにしたい様子で会場を後にした。



←3年生の三激委員・中西海翔君が決意の言葉を述べる

2年生の三激委員・鹿島僚介君が激励の言葉を述べる



学年PTA・進路講演会

10月15日(火)、1・2年生の学年PTAが開催され、北九州予備校営業推進本部部長の大山純治氏による進路講演会が実施された。演題は「令和時代を駆け抜けるヒント」ということで、現在の1・2生が大人になった時の社会は、どのように変化していくのかを踏まえて、どのような子でも大切に保護者がどう接していくべきか、経験に基づいた貴重な話を聞くことができた。時折、ユーモアを交えた語り口は、大変感銘を受けた保護者も多く、その後開かれた学級PTAでも「進路講演会で大変貴重な話を聞くことができたので、家庭でも実践したい」と前向きな言葉を聞くことができた。



北九州予備校 大山氏による進路講演会の様子

令和元年度後期 生徒総会・選挙が実施される

令和元年度後期の生徒会選挙が10月17日(木)に実施され、後日、開票の結果21Rの新屋潤季君が前期に引き続き生徒会長を務めることが決定した。

また同日、後期生徒総会が実施され、前期の活動報告、会計監査報告が承認された後、第3号議案として「鶴丸生の生活規範を見直す」というテーマで活発な意見交換がなされた。学校全体の現状を確認しあつた後、現状を改善していくためには、どのような取り組みがなされるべきか意見交換がなされた。今後の生徒会執行部がどのように取り組んでいくか期待できる生徒総会になった。

11月の行事予定

11月		食堂
1 金	出前講義	○
2 土	3年進研マーク	×
3 日	文化の日 英検第2回二次試験 3年進研マーク	×
4 月	振替休日	○
5 火	3年実力考査時間割発表	○
6 水	スクールカウンセリング ロードレース大会説明会	○
7 木		○
8 金	文化講演会	○
9 土		×
10 日		×
11 月	3年実力考査(1日目) 学校安全の日	○
12 火	3年実力考査(2日目) ロードレース大会(1, 2年)	×
13 水	集団読書(1, 2年) 第2回学校関係者評価委員会	○
14 木		○
15 金		○
16 土	悠学講座④	×
17 日		×
18 月	学年朝会 スクールカウンセリング	○
19 火		○
20 水		○
21 木		○
22 金		○
23 土	勤労感謝の日	×
24 日		×
25 月	全校朝会 卒業・中間考査時間割発表	○
26 火		○
27 水		○
28 木		○
29 金		○
30 土		×

第3号議案の総括をする 生徒会長の新屋君



活発に意見交換がなされる様子